令和８年度小中一貫重点目標

「自ら問い、言葉でつながり、しなやかに挑み続ける」

～ 心の中に「やってみたい！　やってみよう！」の火を灯そう ～

学校だより

令和８年７月２４日発行

佐呂間町立佐呂間中学校

文責　校長　太　田　依　里





佐中生のよいところ　－ 前期前半を振り返る －

よいところ１：あいさつが爽やか！

朝や帰りはもちろん、日中も校舎内には「こんにちは！」と明るく爽やかな挨拶が響きます。どこにいるの？と思うほど遠くから声を掛けてくれる佐中生もいます。立ち止まって丁寧にあいさつしてくれる佐中生もいます。

朝や帰りは、ゴミ出しをしている地域の方や、お仕事中の消防士さんに声を掛けている佐中生もいます。

「早いね～感心、感心」など、挨拶をきっかけに会話が生まれます。会話はやがて対話となり、伝えあい、分かりあえる関係が育っていきます。

よいところ２：やってみた！



どのクラスも、並べる順番まで統一されたこだわりよう。美しい！

なかなか定着しなかった整理整頓。生活常任委員会は、さらなるロッカー整理の意識向上（片づけあえる雰囲気の醸成）を目標としイベント化。その名も『ロッカー甲子園』副委員長　３Ａ井田璃子さんの発案とのこと。

１．個人戦ではなくクラス対抗とする。
２．委員のチェック時に、クラス全員のロッカーが整頓されていれば、その精度ごとにポイント。
３．結果は廊下等にグラフにして、掲示発表。
４．最優秀に輝いたクラスは、お昼の放送で表彰。
　※広報常任委員に協力をお願いします。
５．７月６日（月）～１０（金）※８日（参観日）は行わない。

運動会の取組をはじめ、今年の生徒会は一味違う！と感じています。広報常任委員会と連携をとっているあたりがまた素晴らしい！今後の活躍にも乞うご期待！

よいところ３：学びあい

学級や全校で「〇〇な人、手をあげてください」などと声を掛けると、周囲の様子をうかがうことなく、スッと手をあげることができます.

「近くの席の人と相談してみてください」の投げかけにも躊躇なく反応し、意見を交わすことができます。



ひとりで黙々と取り組むのが好きな人、仲間とワイワイ学ぶのが好きな人、、、学びのスタイルは人それぞれですが、誰かに「伝える」ことは「定着」につながります。

学びあう佐中生の姿があたりまえの風景になれば、学びは定着し「地頭」は鍛えられていくこと間違いなしです。

貴重な夏休み期間を有意義に過ごし、休み明けにも佐中生の良いところをたくさん見せてほしいと思っています。



総合的な学習の時間「さろま学」

　地域のみなさまや関係機関のみなさまのお力を借りて、各学年大変貴重な体験をさせていただいています。お力添えいただいた方々に心から感謝いたします。



２年生「さろまを支える」～公的機関の方からのご講話　7/3（金）～

　２年生さろま学テーマは「さろまを支える」です。地域の伝統や現状を深く学び、町を支える当事者としての意識を育みます。佐中生の日常でどのような方たちの、どのような働きで自分たちが支えられているのかを知ることが今回の大きな目標です。

佐呂間町役場　中原　央人さん
―佐呂間町民が、安全に、楽しく、幸せに暮らせるよう、日々働いています。―



佐中生：佐呂間町がどんな町になったらいいと思いますか？
中原さん：佐呂間町は、**人と人とのつながりが強い町**なので、町民のみなさんが**誇りに想える町、住み続けたいと思う町になったらいいと**思います。そのためには、みなさんの力が必要です。
佐中生：仕事をしていてつらい時、楽しい時はどんな時ですか？
中原さん：**仕事って、辛いことがあるからこそ、楽しいと感じることがあるのだと思います**。誰かに力になってもらった時、助けられたときは、自分も助けられる人になりたいと思います。

遠軽地区広域組合消防署 佐呂間支署　林　更紀さん
―消防士は特別な人ではなく、普通の人が試験を受けてなるものです。
責任感、忍耐力がもともとあったわけではなく、仕事を通して学んだことです。―



「お話を聞いて」佐々木環さん
・消防の人たちは、火災だけではなく救急、救助、予防のたくさんの仕事をして、町を支えてくれていることが分かりました。３６５日２４時間、**消防の方たちが活動し、町を支えてくださっていることを知り、安心して過ごせています。**

「お礼の言葉」畑中羚鳳さん
・いつ出動がかかるか分からないのに、僕たちに色々なことを教えていただき、本当にありがとうございました。



遠軽警察署佐呂間駐在所　河本　信二さん
―警察官になって、人を見る目や風景を見る目が変わりました。
怪しくないかな？危なくはないかな？といつも気になります。―

「お話を聞いて」三好悠聖さん
・普段気にしなかったことが、職業に就くとすごく気にするようになるんだなと思いました。そして、もっとすごいなと思ったところは、**怖いこと、辛いこと、苦しいことがあっても、それに立ち向かうところがすごくかっこいいと思いました。**

「お礼の言葉」今井芯さん
・河本様の講話を聞いて、これからは**自分の命は自分で守ろう**と思いました。

　今日は、私たちのために、お忙しい中貴重なお時間をとっていただき、ありがとうございました。
お聞きした中で共通していることは、**人のために働くこと、働きがい、支える気持ちの大切さ**でした。**これから僕たちは、そこに感謝しながら生活したいと思いました。**今日は本当にありがとうございました。
生徒代表お礼のことば　中里　龍孔　さん



１年生「さろまと繋がる」

～あすチャレ！スクール「車いす陸上プログラム　7/１０（金）～

―工夫一つで、できなかったことができるようになる！―

元パラリンピック陸上選手：永尾　嘉章さん



　共生社会の実現について主体的に考える学習の一環として実施した、このプログラム。

　事後アンケートでは、「障がい者に対するイメージは？」という問いで、「明るい」「尊敬できる」「強い」「立派」「自分と変わらない」を〇で囲った生徒が多数いて、**佐中生の心の中に「共生」の意識**が育ったことを感じることができました。

　講師の永尾さんからも「応援が力になりました、ありがとう！」「互いを尊重しあうことができれば、クラスのエネルギーが上がってくんじゃないかな」「いかに諦めないという気持ちが大事か」「夢中になってやっていれば、その経験が皆さん自信を助けます」などなど、心に残る言葉をたくさんいただくことができました。

生徒の感想

・体が不自由で困っている人がいたら、声を掛けられるように勇気を出す
・「体に障害があるのではなく、その人の足りないものを妨害する物自体が障害だ」という言葉が、とてもささった
・「車いす陸上」というものがあるということを初めて知った
・学校でも、いろんなところで困っている人に声をかけて、助ける意識をもって生活する





３年生「さろまを創る」

～修学旅行での PR 活動に向けて　7/10（金）～

　さろまーるにお勤めの佐呂間町観光協会 鈴木 身江子さんが来校し、PR 活動の極意と知られざるサロマ湖の秘密を伝授してくださいました。「２０人通って１人立ち止まってくれたらよい方。でも、そもそも人が多いから大丈夫！１００人なんて、あっという間だから！みんな、心折れないでね」とのことでした。

　修学旅行では、地下歩行空間で自作のパンフレット等を配布し、佐呂間町の PR 活動を行う計画となっています。体育館で声のかけ方の練習も実施し、準備は着々と進んでします。

２年生 宿泊研修　７月１５日（水）・１６日（木）

　今年度も紋別市 生涯学習センターLiLA での宿泊体験を含む研修を通して、大人とのかかわり、仲間とのかかわりについて学びを深めてきました。

　１日目は、海上保安庁での研修（見学・体験）→オホーツク流氷科学センターでの研修→紋別市内自主研修（昼食）→家庭裁判所での研修（説明・模擬裁判）、２日目は湧別町郷土博物館での研修 と、「支える」に深くかかわる研修も多くありました。

**　２年生のみなさんは、どの研修にも真剣に取り組み、担当の方の説明等に歓声をあげたり、熱心にメモをとったり**、大変立派な態度で臨むことができていました。

　行く先々で「リアクションが大変よく、こちらも楽しく説明することができました」とお褒めの言葉をいただきました。

　今回の学びを学校生活に生かし、来年の修学旅行につなげてくれることを願っています。



部活動、がんばっています！　～中体連オホーツク大会が終わりました～



≪Saroma　Wind　Band≫
　８月１日（土）に北見市で開催される「第 68 回北見地区吹奏楽コンクール」に出場します。



≪バスケットボール≫
　６月２７（土）・７月４日（土）・５日（日）　北見市
　男子　vs 美幌町立北中学　●４９－６２〇
　　校拠点校
　女子　vs 遠軽中学校　〇５４－　８●
　　vs 網走第二中学校　〇８５－１８●
　　vs 置戸中学校　●４４－５８〇

≪野球≫
　中体連には出場せず、７月１８日（土）から興部町で開催された全日本軟式野球大会に出場しました。
　vs 西胆振代表 光陵中学校　〇６－３●
　vs 日高代表 浦川・えりも・様似中学校　●０－１〇

≪バレーボール女子≫
　７月４日（土）・１１日（土）・１２日（日）　大空町女満別
　佐呂間中学校、上湧別学園、ゆうべつ学園との合同チーム
　予選グループ戦
　　vs NEXUS 紋別　〇２－０●
　決勝トーナメント
　　vs 網走第一中学校　●０－２〇

大会や行事で撮影された写真について

　学校行事や部活の大会等で保護者のみなさまがお子様の活躍を写真に収めている場面をよく見かけます。
　ご自身の SNS にアップされていることも多々あるとのこと。
　無許可での掲載や個人情報の流出等には十分留意され、**お子様やお友達がトラブルに巻き込まれないよう、ご配慮**をお願いします。

8月の行事予定

12日(水)　学校閉庁日　～17日
18日(火)　夏休み明け集会
20日(木)　スクールカウンセラー来校日
21日(金)　部活動中止　～24日
24日(月)　前期期末テスト
26日(水)　生徒会役員選挙公示
　　常任委員会
27日(木)　こども少年文化劇場

≪学校閉庁日について≫

　別紙にてお願いしておりますが、町内小中学校では教職員の「働き方改革」の観点から夏・冬２回の閉庁日を設定させていただいています。

　実は、佐呂間中学校教職員の勤務時間は８：００～１６：３０で休憩時間は１５：３０～１６：１５です。昼食時間の休憩が一般的ですが、学校では給食の指導があります。また、部活動があるため、退勤時間に帰宅することもほぼ不可能です。勤務時間外や休憩時間内にも電話、来客、生徒の対応は途切れることがありません。

　そんな日常を送っている佐中教職員が夏・冬の２回、普段より長めに仕事を忘れる時間をいただくことに、ご理解とご協力をお願いします。

必ずご確認ください　～「マチコミ」での連絡について～

　４月から今日までのマチコミでの発信は通算１００件を超えています。クマの出没情報も増え、着信があっても「またか…」と感じている方も多数いらっしゃることと思います。
　さらに、今年度は**ペーパーレスと確実な伝達という観点から、保護者にだけ伝わればよい連絡（出欠の確認、集金のご案内　等）もマチコミで配信**しております。
　発信数が増えるのと同時に、**「未開封」の数も増えております**。従来のように、「マチコミ」イコール「緊急」という要素は薄くなっていますが、**「マチコミ」イコール「重要」**であることに変わりはありません。**着信があったときは必ず開封し、内容を確認**されるようお願いいたします。

主な相談窓口（北海道）　中学生・中学部生・高校生・高等部生用①（令和８年７月）

名称	所管等	電話番号等	受付	概要
北海道子ども相談支援センター （24時間子供SOSダイヤル） （メール相談）	北海道教育委員会 （文部科学省）	0120-3882-56 (0120-0-78310) sodan-center@hokkaido-c.ed.jp	毎日24時間対応	いじめ、不登校、友人関係、親子関係、性的マイノリティ、性暴力の被害、家庭の事情で自分の時間がとれない、ヤングケアラーに関することなど、様々な悩みを相談できます。
ほっかいどうこどもライン相談	北海道教育委員会	LINE	令和８年５月18日～ 令和９年３月29日 の月曜のみ 17:00～22:00	いじめ、不登校、性暴力の被害など、様々な悩みを相談できます。 対象：中学生、高校生 左記以外の相談期間 ５/１～５/12毎日17:00～22:00 ８/６～９/16毎日17:00～22:00 １/７～２/１毎日17:00～22:00
児童相談所虐待対応ダイヤル	北海道保健福祉部 （こども家庭庁）	189 （いちはやく）	毎日24時間対応	虐待の疑いがあるなど、虐待に関する悩みを児童相談所に通告・相談できます。
親子のための相談LINE	北海道保健福祉部 （厚生労働省）	LINE	平日9:00～17:00 （12/29～1/3除く）	いじめ、不登校、ヤングケアラー、虐待など様々な家族・家庭の相談ができます。
北海道いのちの電話	社会福祉法人 北海道いのちの電話	011-231-4343	毎日24時間対応	様々な悩みを相談できます。
こどもの人権110番	法務省	0120-007-110	平日8:30～17:15	いじめ・体罰等について、法務局職員・人権擁護委員に相談できます。
チャイルドライン	認定NPO法人 チャイルドライン ほっかいどう	0120-99-7777	毎日16:00～21:00 （12/29～1/3除く）	18歳までの子どもが電話・チャットで様々な悩みについて相談できます。

主な相談窓口（北海道）　中学生・中学部生・高校生・高等部生用②（令和８年７月）

名称	所管等	電話番号等	受付	概要
少年サポートセンター 「少年相談110番」	北海道警察	0120-677-110	平日8:45～17:30	いじめ・犯罪・児童虐待等の被害に悩む子どもやその家族が警察に相談できます。
こころの電話	北海道立精神保健福祉センター	0570-064-556 （全国共通ナビダイヤル）	平日9:00～21:00 土日祝10:00～16:00 （12/29～1/3除く）	様々なこころの悩みを相談できます。
		011-864-1294 （直通） ※札幌市民以外の道民対象	平日9:00～17:00 （12/29～1/3除く）	
北海道こころの健康SNS相談窓口	北海道保健福祉部		平日、土曜日、祝日 18:00～23:30 日曜日 18:00～翌朝5:30	日常生活や学校生活に関する悩みを相談できます。
性暴力被害者支援センター北海道 （SACRACH さくらこ）	ＮＰＯ法人ゆいネット北海道	① 0120-8891-77 または、 ② 全国共通ダイヤル＃8891	平日10:00～20:00 （土日祝祭日、12/29～1/3除く） ※①はNTTひかり電話から、②は携帯電話・アナログ固定電話から通話料が無料	子どもや大人が性暴力等の被害について相談できます。 LINEでの相談も可 （右の二次元コード）
		sacrach20191101@leaf.ocn.ne.jp（メール）		
北海道ヤングケアラー相談サポートセンター	北海道保健福祉部	0120-516-086（電話）		ヤングケアラーに関する相談ができます。 受付時間 平日　8:45～17:30
		hokkaido.young.carer2022@gmail.com		
		080-9612-1247（ショートメール専用）		
		facebook.com/hokkaido.young.support（Facebook）		
		@youngcarer2022（X　旧:Twitter）		